

執筆者 〃 森川 武義さん 〃 御紹介

本公社が、工業団地造成事業の集大成として、記念誌発刊を計画し、この執筆をどなたにおねがいしようかと種々検討いたし、田本市長の御助言もいただき、森川さんを最適任者として交渉の結果無理にお引受けいただいた次第です。

森川さんは、この執筆をお引受けいただいてより、二年間、寝食を忘れ、毎日公社事務所に出勤され、資料の収集をはじめ当時の事実説明、記述に全力を傾注、このたび完成をみるはこびとなったところであります。

森川さんは、本年八十一歳をむかえますが、まだかくしゃくとして非常にお若く、八十歳代の高令とは全くみえない方です。これは、常に読書をされ、何事にも対処されている所以であろうと存じます。

同氏は、深川市出身で、北海道中小企業団体中央会に、ながく勤めておられました。本市が、工業団地造成の計画を推進する時を同じくして、帯広工業団地協同組合が結成され、前土谷理事長のもとに、専務理事として招へいされた方です。同組合には、十六年の間勤務され組合の運営はもとより、帯広市の商工業全般にわたり、豊富な知識と卓越した指導力と行動力を発揮されたことは、万人の等しく認めるところであります。この功績は、中小企業庁長官表彰、北海道産業貢献賞、その他数々の賞を受賞されることとなりこれ等、事実を如実に証明しているところであります。

この記念誌を発刊するにあたり、森川さんに心から感謝を申し上げるとともに厚く御礼申し上げ、執筆者の御紹介といたします。